

■ 施工段階

外部仮設足場を可視化し、作業通路の確保や危険箇所への安全対策を検討しました。
また、作業員への安全教育に活用しました。



トイレの器具レイアウトを可視化し、衛生陶器や手すり、スイッチなどの干渉チェックや、より利用しやすい場所に調整しました。



機械室内の設備機器のダクトや配管などが干渉しないかチェックし、位置を調整しました。
また、可視化情報が、メンテナンス性の向上の検討にも役立ちました。

